

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		国語	科 目	現代の国語	単 位 数	3
学年・科		1年・普通科 ライフデザイン科				
教材	教科書	大修館書店『現代の国語』				
	副教材					
学 習 目 標		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 明日をひらく 考える技術—考えさせない時代に抗して— 伝える・伝え合う	・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。	中間 考查
	2 要点をつかむ 水の東西	・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	期末 考查
2 学期	6 魅力的に伝える 「伝える」の先にあるもの 工夫して話す 設計図を最初に渡せ	・意識的に表現を工夫する態度を養う。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。	中間 考查
	7 資料を駆使する 「安くておいしい国」の限界 インターネット時代の音楽産業 統計資料をもとに意見文を書く	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取り、自分の意見を持つ。	期末 考查
3 学期	11 主張を吟味する 贅沢を取り戻す 9 情報を比較する 「美しさの発見」について 8 他者と交流する 状況に応じた通信文を書く	・自分の考えが伝わるよう、論理の流れに注意して発言する。 ・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・相手や場面に応じた通信文を書く。	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現を理解している。	内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開などについて自分の考えを深めている。自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考え、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。	学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	言葉には、認識や思考を支える働きがあります。語感を磨き語彙を豊かにしましょう。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		国語	科 目	言語文化	単 位 数	2
学年・科		1年・ライフデザイン科				
教材	教科書	大修館書店『言語文化』				
	副教材					
学 習 目 標		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
	教材内容		学習内容		考査	
1 学期	【古文編】 1 古文に親しむ 宇治拾遺物語 【現代文編】 5 日本と世界 サーカス／Circus 【漢文編】 1 漢文に親しむ 私たちと漢文 【現代文編】 3 伝統と発展 短歌・俳句		・ 古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに親しむ。 ・ 物語の展開をとらえ、話のおもしろさを味わう。 ・ 詩の表現の特徴と内容を読み取る。 ・ 漢文訓読のきまりを理解する。 ・ 作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。		期末考査	
	【現代文編】 6 文学と人生 城の崎にて わたしが一番きれいだったとき 【漢文編】 1 漢文に親しむ 論語 【現代文編】 2 言葉の紡ぐ世界 羅生門 【漢文編】 2 現代に生きる言葉 蛇足 【古文編】 2 自然へのまなざし 枕草子		・ 作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 ・ 『論語』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 ・ 言葉の意味に注意し、話の展開を捉える。 ・ 場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・ 登場人物の関係を整理し、話の展開を捉える。 ・ 自然の情景に対する作者の感覚を捉える。 ・ 作者の人物像をとらえる。		期末考査	
3 学期	【古文編】 4 人との交わり 伊勢物語 【漢文編】 3 想いを表す言葉 〈2〉 漢詩（自然・友情・人生） 【漢文編】 2 現代に生きる言葉 十八史略		・ 物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・ 漢詩の表現の特徴を理解する。 ・ 登場人物の関係を整理し、話の展開を捉える。		学年末考査	
評価 の 観点 の 趣 旨	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。		文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。		言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。物語の内容や作品の背景、登場人物の思いを捉えようとしている。	
評価方法		定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。				
アドバイス		言葉には、認識や思考を支える働きがあります。語感を磨き語彙を豊かにしましょう。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。				

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2
学年・科	1年・ライフデザイン科				
教材	教科書	歴史総合 わたしたちの歴史ー日本から世界へー (山川出版社)			
	副教材	歴史総合 わたしたちの歴史ー日本から世界へーノート (山川出版社)			
学習目標		1 日本の歴史と世界の歴史を関連づけ、総合的に学ぶことで歴史的思考力を身に付けることを目指す。 2 歴史を学ぶことを通じて、現在の国際社会が抱える諸課題に対応できる、基礎的な知識を身に付けることを目指す。			

	教材内容	学習内容	考査
1学期	1部 近代化と私たち 1 交通と貿易 2 産業と人口 3 権利意識と政治参加や国民の義務 4 学校教育 5 労働と家族 6 移民	18世紀から20世紀初頭の世界（日本も含む）の歴史を中心に学習する。産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会のあり方が大きく変わったことを理解する。	中間考査 期末考査
2学期	2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 国際関係の緊密化 2 アメリカ合衆国とソ連の台頭 3 植民地の独立 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 5 生活様式の変化	20世紀初頭から1950年代にいたる世界の歴史を中心に学習する。政治・経済・文化など様々な面で国際的な結びつきが強まって、国と国との関係性が変化していったことを理解する。	中間考査 期末考査
3学期	3部 グローバル化と私たち 1 冷戦と国際関係 2 人と資本の移動 3 高度情報通信 4 食料と人口 5 資源・エネルギーと地域環境 6 感染症 7 多様な人々の共存	1950年代以降の世界の歴史を中心に学習する。科学技術の革新を背景に、人・商品・資本・情報などが国境をこえて流動するようになり、人々の生活や社会のあり方がさらに変化したことを理解する。	学年末考査

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考査の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史を学ぶことを通じて、現在の国際社会が抱える諸課題に対応できる、基礎的な知識を習得することを目指しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科	数 学	科 目	数 学 I	単 位 数	3
学 年・科	1 年 ライフデザイン科				
教科書	最新 数学 I (数研出版)				
副教材	新課程 パラレルノート 数学 I (数研出版)				
学 習 目 標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式	・式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする。	中間考査 期末考査
	第2節 実数 第3節 1次不等式	・実数や数の体系についての理解を深め、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて学習し、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について学習し、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする。	
2 学 期	第2章 集合と命題	・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	中間考査 期末考査
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と2次不等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比	・2次関数とそのグラフについて学習し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識して、事象の考察に活用できるようにする。 ・2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について学習し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 ・三角比の意味やその基本的な性質について学習し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、問題解決に三角比を活用できるようにする。	
3 学 期	第2節 正弦定理・余弦定理 第5章 データの分析	・図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導いたり、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする。 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を学習し、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現したり、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする。	学年末考査

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識と技能を習得し、事象を数学的に考察する力を身に付け、数学のよさを認識して、それらを活用する態度が身に付いている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。
アドバイス	日々の授業を大切にし、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		理 科	科 目	科学と人間生活	単 位 数	2
学年・科		1年・ライフデザイン科				
教材	教科書	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）				
	副教材	ネオパルノート 科学と人間生活（第一学習社）				
学 習 目 標		自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	序章 科学技術の発展 第Ⅰ章 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途 ③さまざまなプラスチック ④金属と人間生活 ⑤金属とその製錬 ⑥金属のさびと合金 ⑦資源の再利用 第Ⅱ章 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節 ⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除 ⑦ヒトの視覚	- 科学技術が今日までどのように発展してきたか、その歴史を理解する。 - 日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。 - 観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質および資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解する。 - DNA の構造、タンパク質の合成、血糖濃度の調節、免疫のしくみについて理解する。 - 観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する。	中間 考查 期末 考查
2 学期	第Ⅲ章 第1節 熱の性質とその利用 ①温度と熱運動 ②熱容量と比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥エネルギー資源の有効活用 第Ⅳ章 第1節 自然景観と自然災害 ①日本列島のなりたち ②火山活動と地表の変化 ③火山活動と防災 ④地震活動と地表の変化 ⑤地震災害と防災 ⑥水のはたらきと地表の変化 ⑦気象災害と防災	- 熱の性質やエネルギーの変換と保存、有効利用について理解する。 - 観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。 - プレート運動による地形の変化や水のはたらきによる地表の変化について理解する。 - 観察、実験などを行い、プレート運動による地形の変化や水のはたらきによる地表の変化を防災や日常生活と関連付けて理解する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	第Ⅴ章 これからの科学と人間生活 ①課題の設定と研究の進め方 ②レポートの作成方法	自然と人間生活とのかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ、これからの科学と人間生活との関わり方について考察する。	学年 末 考 査

評価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解している。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断している。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付けようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から身のまわりの自然現象、電気製品や車などに使われている技術などに興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、科学番組を視聴したりしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		保健体育	科 目	体育	単 位 数	3
学年・科		1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	現代高等保健体育				
	副教材					
学 習 目 標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 オリエンテーション 2 体づくり運動 3 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール 4 体育理論1 スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて学習する。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて学習する。 ・スポーツの歴史や、その理念の変容について学習する。	期末 考查
	5 選択制授業1 6 体づくり運動 7 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン 8 体育理論2 オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 9 ウォークラリー	・健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、国際大会の役割や現代スポーツの経済的な波及効果について学習する。	
	10 陸上競技 11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン 12 体育理論3 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境	・自己に適したペースを維持して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察などの方法などについて学習する。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 ・フェアプレイの精神や、スポーツが環境や社会にもたらす影響について学習する。	学年 末考 査

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		保健体育	科 目	保健	単 位 数	1
学年・科		1年・ライフデザイン科				
教材	教科書	現代高等保健体育（大修館）				
	副教材	現代高等保健体育ノート				
学 習 目 標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	1 単元 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康の考え方や、生活習慣病の予防とその回復について学習する。 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実現することについて学習する。	期末 考 査
2 学 期	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代の感染症とその予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について学習する。 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実現することについて学習する。	期末 考 査
3 学 期	2 単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	・安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深め、応急手当を適切にすることについて学習する。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することについて学習する。	学 年 末 考 査

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、応急手当の技能が身に付いているか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	保健体育にかかわる大切な知識を理解し、自分自身の生活と学習内容を結び付けることで、社会や世界とのかかわり方や、より良い人生を送る方法について考えてみましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科	芸術	科 目	音楽I	単 位 数	2
学年・科	1年 ライフデザイン科				
教科書	音楽I Tutti+ (教育出版)				
副教材					
学 習 目 標	音楽の幅広い活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を身に付け、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学 期	オリエンテーション 歌おう、響かせよう、楽しもう 歌の旅に出よう —各国の歌曲をとおして— オーケストラの魅力を探ろう —バイオリンの演奏を通して—	・校歌や親しみやすい歌を歌うことで、合唱の楽しみを味わい、高校の音楽学習への意欲を養う。また、様々な音楽に自ら積極的にに関わり、音楽を幅広い視点から捉えようとする態度を身に付ける。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて考える。 ・バイオリンの奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏し、楽器の魅力を味わう。また、オーケストラの様々な楽器による表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを味わう。	実技試験・筆記試験
2 学 期	名曲プレゼンテーション1 —様々な時代の音楽を聴こう— アンサンブルを楽しもう 物語と音楽との関わりに注目しよう —総合芸術における音楽の魅力—	・時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評する。 ・ギターやキーボードなどの楽器の扱いに慣れ、アンサンブルを楽しむ。 ・オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか考える。	実技試験・筆記試験
3 学 期	名曲プレゼンテーション2 日本の伝統的な音楽 古の音楽に思いをはせよう 世界のさまざまな音楽の魅力 —和楽器の音と世界の楽器の音—	・各自で調べた音楽について発表し合う、批評する。 ・雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管絃の響きに関心をもち、雅楽固有の特徴が日本人の音感覚や美意識、他の文化・歴史と関わりながら育まれてきたことを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。 ・諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。	実技試験・筆記試験

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 観 点 の 趣 旨	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するか意図をもっている。 音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	楽器の奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏活動をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくることに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、課題や作品などの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	普段から芸術に興味を持ち、幅広く音楽作品を聴くようにしましょう。音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術I	単位数	2
学年・科	1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	高校生の美術1（日本文教出版）			
	副教材				
学習目標		1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標とします。			

	教材内容	学習内容	考查
1学期	オリエンテーション	・美術Iの学習について	作品・レポート・ワークシート
	1 鉛筆デッサン	・調子の変化 ・形をとらえる ・制作	
2学期	2 デザイン	・色彩のしくみ ・伝えることと表現方法 ・アイディアスケッチ ・レイアウトと構成 ・作品鑑賞	作品・レポート・ワークシート
	3 映像メディア表現	・アニメーションの基礎 ・表現の工夫 ・制作 ・編集と鑑賞	
3学期	4 絵画	・画材の特徴と技法 ・形をとらえる ・着色 ・仕上げと鑑賞	作品・レポート・ワークシート
	5 身近な素材と立体表現	・鑑賞	
3学期	6 彫刻・デザイン	・使いやすさと美しさ ・素材研究 ・レンダリングと鑑賞	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		外国語	科 目	英語コミュニケーションⅠ	単 位 数	3
学年・科		1年・ライフデザイン科				
教材	教科書	COMET English Communication Ⅰ（数研出版）				
	副教材	COMET English Communication Ⅰ ベーシックノート				
学 習 目 標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、多くの支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	Get Ready ①～③ 1 What did you do in Japan ? 2 When do you feel happy ? Activity 1 Pronounce It ! 3 Onigiri Goes Overseas 4 Pictograms Reading 1 Let's try Riddles ! Activity 2 T-shirts for Our Class	- 自己紹介や他者紹介をする。 - 海外からの旅行者の日本での経験を知る。過去形を理解する。 - 自分の好きなことや趣味について英語で述べる。進行形を理解する。 - 英語のリズム、音節を理解し、英語らしい発音の仕方を確認する。 - 日本のおにぎりが海外でも人気であることを理解する。助動詞を理解する。 - 身の回りにあるピクトグラムについて知り、英語で紹介する。不定詞を理解する。 - 英語のなぞなぞに挑戦する。 - クラスTシャツのフレーズを考える。	中間 考查 期末 考查
2 学期	5 Morita Yuko Hospital facility Dog Handler 6 Convenience Stores :Keys to Their Success 7 High School Aquarium 8 Smart Farming Activity 3 Express IT!	- 病院で子どもたちを癒すファシリテイドッグの日本初のハンドラー、森田さんへのインタビューを読む。動名詞を理解する。 - コンビニが商品を売るための工夫についての研究発表を読む。That 節を理解する。 - 高校で水族館を運営する水族館部の生徒へのインタビューを読む。現在完了を理解する。 - スマート農業に関するウェブサイトの記事を読む。 - 相手に伝わるように感情を込めて読む。	中間 考查 期末 考查
3 学期	9 Food Waste 10 William and His Windmill Activity 4 Write a Paragraph in English! Reading 2 Bailey the First Hospital Facility Dog in Japan	- 食品廃棄の問題について、ダイキが学校新聞に記事を書いた内容を理解する。 - 電気もない貧しいアフリカの農村で、独学で発電のための風車を作った少年ウィリアム・カムクワンバの実話を読む。関係代名詞を理解する。 - 自分が好きな人やものについて、まとまりのある文章を書く。 - 日本初のファシリテイドッグ、ベイリーの物語を読む。	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 - コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読み取り、その内容を捉える技能を身に付けている。また、情報や考え、気持ちなどを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や情報を聞き取ったり読み取ったりし、話し手や書き手の意図や概要、要点を捉えている。また、情報や考え、気持ちなどを話して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、書き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることが書かれたことを聞いた、読もうとしている。また、英語を用いて話そうとしたり、伝え合おうとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、パフォーマンステスト、プレゼンテーション、授業態度などを評価します。
アドバイス	読む力、話す力、聞く力、書く力の四技能のバランスの取れた育成を目指します。それらの基本はやはり語彙力の強化です。ラジオ講座を聞くなど、英語に毎日触れることが大切です。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	4
学年・科	1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)			
	副教材	家庭科ノート、調理実習ノート (愛媛県高等学校教育研究会家庭部会)			
学習目標		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指します。			

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	家庭科の学び方 生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 高齢者の自立を支える 4 これからの超高齢社会	中間 考 査 期 末 考 査
2 学 期	ホームプロジェクト 第5章 共に生き、共に支える 第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる	ホームプロジェクトの発表 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	中間 考 査 期 末 考 査
3 学 期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 これからの経済生活 1 持続可能な社会を目指して 1 生活をデザインする	学 年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動に積極的に取り組みましょう。実験・実習に主体的に取り組みましょう。また、火気、用具、材料などの取り扱いに注意をして、事故がないように気を付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2
学年・科	1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	生活産業基礎 (実教出版)			
	副教材				
学習目標		1 生活と産業の関わりについて理解し、生活に関連する職業などへの関心を高め、職業観、勤労観を育成します。 2 各分野におけるスペシャリストとしての必要な専門の知識・技術を習得しようとする意欲を持つとともに、実践的な態度を育成します。			

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	生活産業基礎について 第1章 生活産業基礎を学ぶ	ライフデザイン科での学び方 1 私たちの生活と「生活産業」 2 スペシャリストになるために	期末 考查
	第4章 衣生活関連分野の産業と職業 第2章 生活に対応した商品・サービスの提供	1 衣生活の変化と生活産業とのかかわり 2 衣生活関連産業の職業と資格 1 消費者ニーズに把握 2 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3 関連法規	
2 学期	第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業	1 社会の変化とヒューマンサービス 2 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格	期末 考查
	第5章 住生活関連分野の産業と職業	1 住生活の変化と生活産業とのかかわり 2 住生活関連産業の職業と資格	
3 学期	第3章 食生活関連分野の産業と職業	1 食生活の変化と生活産業とのかかわり 2 食生活関連産業の職業と資格	学年 末 考 査
	第9章 職業生活と自己実現	1 職業生活と生きがい 2 将来の生活と学業	

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活と産業の関わりや生活産業と職業に関する生活と産業との関わり、生活産業の社会的な意義や役割、生活に関連する各分野の職業について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	ライフデザイン科のより専門的な学習と卒業後の進路について思考を深めるとともに、生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	生活産業や関連する職業について関心を高め、生活産業の各分野でスペシャリストとして必要な知識や技術を進んで習得しようとする意欲と実践的な態度を身に付けている。

評価方法	実習や、授業を聞く態度、ノート、ワークシート、レポート、感想文、発表の仕方や内容、実習意欲や態度について評価します
アドバイス	「生活産業基礎」では、私たちの生活を支える衣食住や保育・介護などのヒューマンサービスに関わる産業について理解を深めて将来のスペシャリストを目指していきます。いろいろな分野から自分の進路を選択していくための学習ともなります。2年次からのコース選択のためにも役立つよう積極的に取り組みましょう。進路室の資料も活用しながら自己実現を図りましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		家庭	科 目	ファッション造形基礎	単 位 数	2
学年・科		1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)				
	副教材					
学 習 目 標		家庭の生活にかかわる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 被服製作の基本 2 基礎縫い 3 アウターパンツの製作	1 被服製作の基本 ① 用具の名称、被服材料の種類と特徴 ② 技術検定について 2 基礎縫い ① 並縫い ② まつり縫い ③ 半返し縫い ④ ボタン付け ⑤ 技術検定3級 ⑥ ミシン縫い 3 アウターパンツの製作 ① デザインの考案・型紙作り ② 裁断・しるしつけ	期末 考查
2 学期		③ 縫い代の始末・ポケットつけ ④ わき縫い・また下縫い ⑤ すそ縫い・また上縫い ⑥ ウエストの始末 ⑦ 仕上げと相互評価 ⑧ 技術検定2級 ⑨ 技術検定2級事後作業	期末 考查
3 学期	4 じんべいの製作	4 じんべいの製作 ① 型紙作り・裁断 ② しるしつけ ③ 背縫い ④ そで、身ごろの三つ折り ⑤ すそ縫い ⑥ えり作り ⑦ ひも作り	学年 末 考 査

評価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考查のほか、作品、提出物、被服製作に粘り強く取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	被服製作には手先の器用さ、丁寧さ、根気強さが必要です。授業時間だけでなく家庭においても繰り返し練習することが大切です。基礎ができていないと高度な作品を仕上げることは困難です。また、進度が遅れがちな人は、放課後残って取り組む必要があります。コツコツと努力し、基礎的な知識と技術を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		家庭	科 目	フードデザイン	単 位 数	2
学年・科		1年 ライフデザイン科				
教材	教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)				
	副教材	.				
学 習 目 標		家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考 査
1 学 期	第1章 健康と食生活	1 食事の意義と役割 ① なぜ食べるのだろうか 2 食を取り巻く現状 ① 青年期の食生活 ② 食生活の変化―食の外部化の進行― ③ 現代の食生活の課題 <全国高等学校家庭科技術検定食物調理3級>	期 末 考 査
2 学 期	第2章 栄養素と食品	④ 栄養素等の摂取状況 ⑤ 食品の流通と変化 1 栄養素と消化・吸収 ① からだは何でできている？ ② 消化・吸収のしくみ ③ 栄養素の役割 2 各栄養素のはたらき ① 炭水化物 ② 脂質 ③ ビタミン ④ 無機質（ミネラル） ⑤ 水とその他の栄養素 <全国高等学校家庭科技術検定食物調理2級>	期 末 考 査
3 学 期		3 食品とその特徴 ① 穀類 ② いも類 ③ 砂糖類・甘味料	学 年 末 考 査

評 価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評 価 方 法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、実習や技術検定、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
ア ド バ イ ス	調理実習については、家庭で予習、復習をし、実習に真剣に取り組み、調理技術や知識を身に付ける努力をしましょう。